



今日すゝとけする

奈々有りこと有と 何でも有りこと有と

もう奈々有りは 此れかおとわ有りと 此と費

中寺やんていん よく有り云と 何あり有云

ていん太 それでも ねむりしそつあが

目ざめぬの今朝 九時迄と云つた

たしおと席は是下つくことけ 此れが病子

て 予子ろつ午有ん

あふかふしを 見と行く存んて 遠いことだ

一昨日予を台所迄行つた 昨日はあつた

予を 今朝はやつと来まど

はじまりは十月三日の夜 右の太ももの

筋肉の痛みだ 加まん虫来ずヤロと云ふ

そはつた 次はひさだ 雨ひふたつた

本心ざん集申

たつたそ小町へのことだ 何となくしと

いこのだ と 今は何思ふことか云ふ

雲霞下年の峰 万歩ひみきりた ずばい

び下り長峰 此れがかうくしと云ふ

それきりて 病子存じやあつた

今回も足を傷いすぞと 六日目に痛みが
出る 年々ともど気が長と 存子と言ふが
すきねるの通りだ

梅子の出さりの不ふそいと 伊のいぢ子だ
わかろ存くぞる

多分うれで梅子は去存と存ると思つていゝが
年をとるときうそとは ころいろことだ

氣を正して存あし 可なるは白々れし存けれ
ばさうさしい 今日何 けりくりぬいで 明白

かろ不^んく^い 紫の線有だ と言つて かんむ
りしてはいられるい

保健会社の金存強 がある ガスストロ^ンプ

の金屋言ふ氣は存子 だん会社はテ^レビ^ジョ^ン

存^んては ぞいつ日岩場の暖房も欠くもさず
うとすうてはかたすうていふ

是がわが痛くはつて 存子^んきこ^えは
しな^んては存うさしい

2019
11/9